

価格改定のお願い

平素「想いやり生乳」を御愛飲いただき、心より御礼申し上げます。

この度、下記やおを得ない事情から、本年12月1日お届け分より価格を改定せざるをえなくなりました。皆様にはご迷惑をおかけして本当に心苦しいのですが、唯一の生乳を残すべく必死の努力を積み重ねてきております。何卒ご理解くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。価格は税抜きです。

改定後価格

180ml 525 円
720ml 1575 円

理由

皆様御存じの通り、弊社は利益を取っておりません。

「生乳」は唯一ですので比較するものがないのですが、一般のお客様はまだまだ「牛乳」という全く違うものと比較して高いと言われます。

そのため開始後10年原価割れを続けながら、ひたすら耐え凌ぎ、周知のための努力を続けてまいりました。そして前回(4年前)ようやく製造原価を売価にさせていただき、そのままであれば利益はなくとも何とか存続できる状態まで辿り着きました。

ところが、まだ記憶に新しいと思いますが、3年前に原油価格の暴騰があり、あらゆる資材(ビン・紙栓・シール・段ボール他)が値上がりし、たちまち再度原価割れとなりました。しかも「原油が理由での値上だから、原油が下がったら下げていただく」約束だったのに、半年後原油価格は1/3まで暴落したにもかかわらず、1社も値下げに応じていただけませんでした。

弊社はたびたび価格を変える迷惑を鑑み、過去同様「耐えられるところまで耐える」決断をして今日に至っております。

「想いやり生乳」のお客様は、決して贅沢をしているのではなく、大切な方を守るため、あるいはご自身の体のため、遊興費や菓子類を削ってでも購入してくださっている方がほとんどですので、可能な限り安くお届けしたく、一般的には利益なしは異常かもしれませんが、精一杯頑張ってまいりました。

しかし今年再び原油が上がると、なんと再度値上する資材メーカーが出てきたり、度重なるアクシデントが追い打ちをかけて、さすがにもう持ちこたえられなくなってしまいました。

それでも随分躊躇し悩み続けてまいりましたが、とうとう耐えられる限界を超えてしまい、「想いやり生乳」がなくなってしまうというお客様への最大迷惑を避けるため、断腸の思いで価格を上げさせていただかざるを得なくなった次第でございます。

正直なところ、心と体に特別な寄与をする「生乳」の特質から見ると、決して贅沢品ではなく非常に安い価格ではありますが、お客様の購買意欲が落ちてしまうと、結局は赤字ということになりかねません。

その点につきましても、一般的に行われる利益確保のための値上ではなく、倒産回避のためのギリギリの選択であることをご理解いただき、何とか販売減が最小限に留まりますよう、何卒皆様のご協力の程よろしくお願い申し上げます。

正直ご負担も厳しい状況は重々承知しております。私達も同じ想いですが、せめて回数を減らしてでも継続していただければ幸いです。

現代社会では利益がないと存続できませんが、皆様と生き物たちの幸せのためだけに在り続けたいと願っている会社です。在り得ないスタイルが逆に誤解を生むこともしばしばですが、皆様とともに「生乳」という大切な宝を守っていきたいと存じます。

「生乳」より高い「牛乳」が平然と売られ、声高にアピールしているものほど信じる事ができない不思議な社会の中で、皆様の希望であり続けたいと思っております。

何卒よろしくようお願い申し上げます。

H.23.11.10

(有)想いやりファーム
取締役社長 長谷川竹彦